

令和元年度進行管理・評価シート
和歌山市歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）
（最終変更令和元年7月16日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画	2
2 和歌山市景観計画	3
3 和歌山市屋外広告物条例	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化	5
2 玉津島神社境内修景整備	6
3 文化財の保存・修復と活用	7
4 歴史的風致形成建造物保全活用事業	8
5 地域の文化財調査	9
6 歴史的建造物等の公開・活用	10
7 和歌山城の整備・活用	11
8 歴史的風致維持向上支援法人への活動支援	12
9 次世代の担い手育成事業	13
10 歴史・文化に関する意識醸成・担い手拡大のソフト事業	14
11 歴史・文化に着目したまちづくり支援事業	15
12 和歌祭の祭礼衣装等の新調・修繕	16
13 無形民俗文化財の継承	17
14 無電柱化の推進(和歌浦59号線、和歌浦口雑賀崎線)	18
15 道路美装化・修景の推進	19
16 公園整備(御手洗池公園、沖見の里公園)	20
17 遊歩道整備(和歌浦、高津子山、浪早崎)	21
18 駐車場整備	22
19 広場整備	23
20 「和歌の浦」ガイドンス施設整備	24
21 博物館歴史展示・講座の実施	25
22 和歌の浦の文化財説明板・まち歩き案内板設置	26
23 日本遺産の魅力発信	27
24 歴史・文化のプロモーション事業	28
25 遺跡の普及・啓発	29
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存に関する取り組み	30
2 文化財の活用に関する取り組み	31
3 埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み	32
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 和歌山市の歴史まちづくりに関する報道	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的風致の情報発信と認識向上	34

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	35
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制については、都市再生課と文化振興課を事務局とした庁内推進体制を設置するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。
 また、必要に応じて、本市の都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、歴史的風致形成建造物所有者、歴史的風致維持向上支援法人、行政機関で構成する和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会等を開催し、計画推進に関しての連絡調整や意見を聞くことができた。
 ●和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会 : 2回開催
 ●和歌山市歴史的風致維持向上計画推進庁内委員会 : 2回開催
 ●和歌山市文化財保護審議会への意見聴取 : 1回

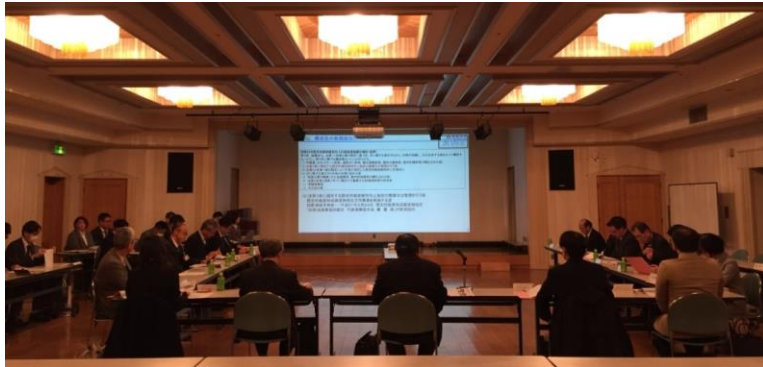
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

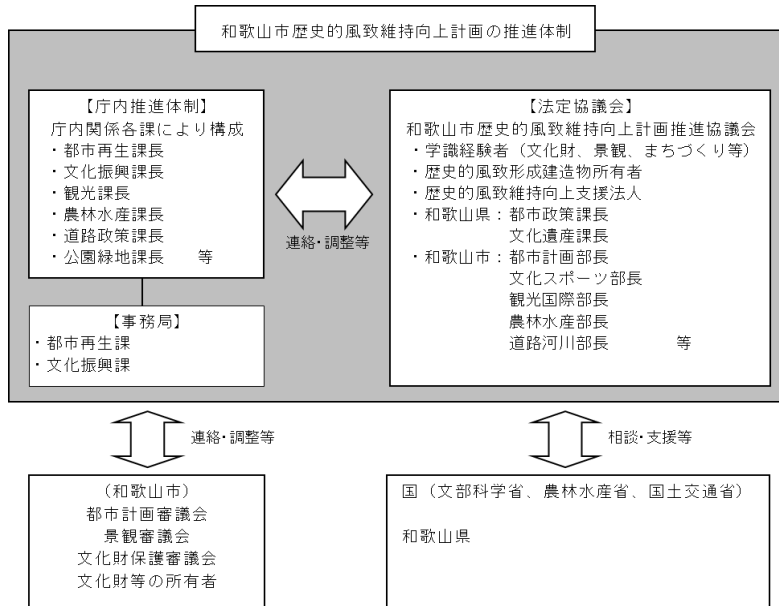
状況を示す写真や資料等

第3回 和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会

開催日 : 令和元年11月22日
 議題 : 完了事業の報告について
 事業の実施状況について



第3回和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会開催状況



評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
都市計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本市は市域全域が都市計画区域になっており、重点区域は、市街化区域と市街化調整区域にまたがっている。
 また、都市の風致を維持するために、優れた景勝地、樹林地、水辺地等の自然環境やこれら自然環境と調和した良好な住環境が形成されている地区の維持を目的に風致地区を指定しており、「和歌浦風致地区」「新和歌浦雑賀崎風致地区」の2地区を指定している。
 引き続きこれらの地域地区等を運用し、良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

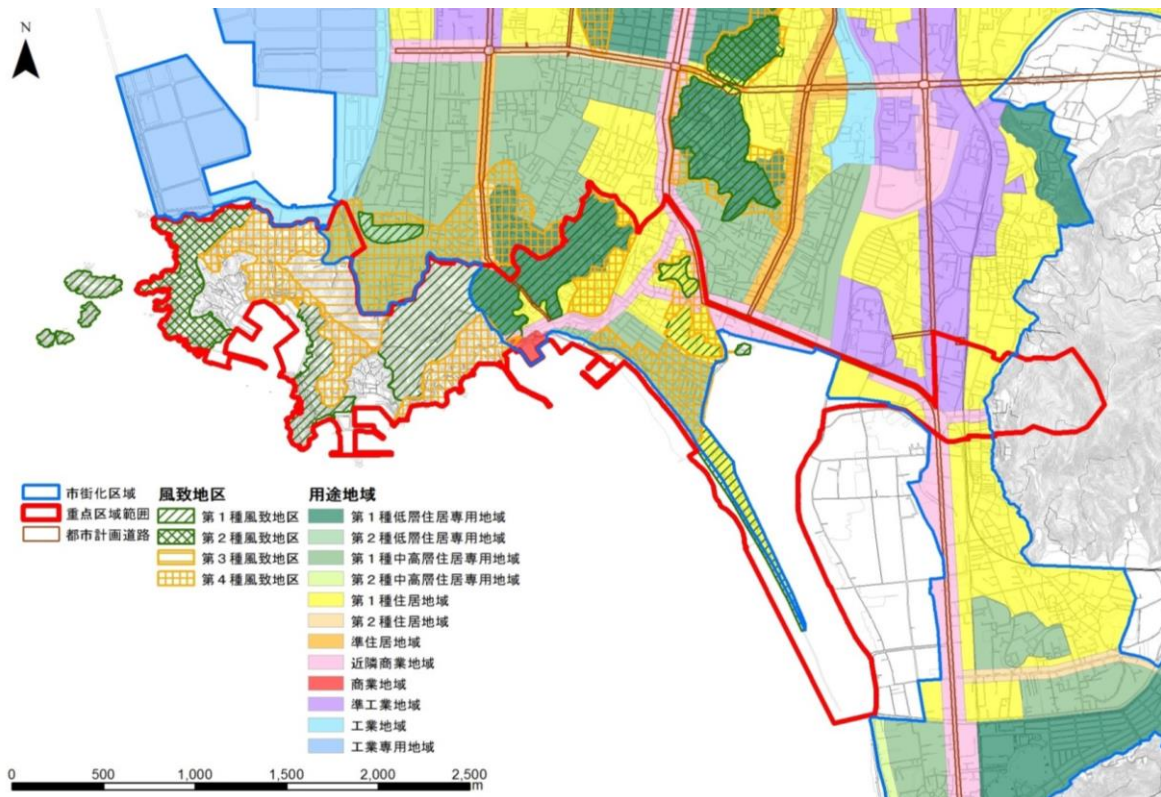
風致地区は、都市の風致を維持するために、優れた景勝地、樹林地、水辺地などの自然環境やこれら自然環境と調和した良好な住環境が形成されている地区の維持を目的に、都市計画法により定められている。
 令和元年度 風致地区内行為許可件数 和歌浦風致地区 : 3件
 新和歌浦雑賀崎風致地区 : 13件
 許可制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成26年4月1日に「和歌山市風致地区内における建築等の規制に関する条例」を施行した。条例に基づき、風致地区内における建築等の規制をし、良好な景観形成を推進する。

状況を示す写真や資料等



都市計画総括図と重点区域の範囲

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
和歌山市景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

和歌山市景観計画により、市域全域を景観計画区域と定め、良好な景観の形成に関する方針や建築物等の行為の制限に関する事項等を定めている。
 その上で、市を象徴する景観として市民の関心も高く、市の顔となる景観上重要な地区を景観計画における「景観重点地区」として、規制誘導方策等を含めた積極的な景観形成を図っており、その一つとして「和歌の浦景観重点地区」を指定し、地区固有の景観の特性に即した景観形成の目標及び方針、さらにはきめ細かな建築物等の行為の制限に関する事項を定めている。
 これらはいずれも本計画の重点区域内に位置していることから、引き続き「景観重点地区」として、行為の制限による良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌の浦景観重点地区は、湾・島しょといった独特の地形・自然の中で、人々の営みが調和して創り育ててきた眺望景観を未来に継承することを目標としている。
 令和元年度 景観計画区域内における行為の届出件数 和歌の浦景観重点地区 : 3件
 届出制度により、良好な景観形成に寄与している。

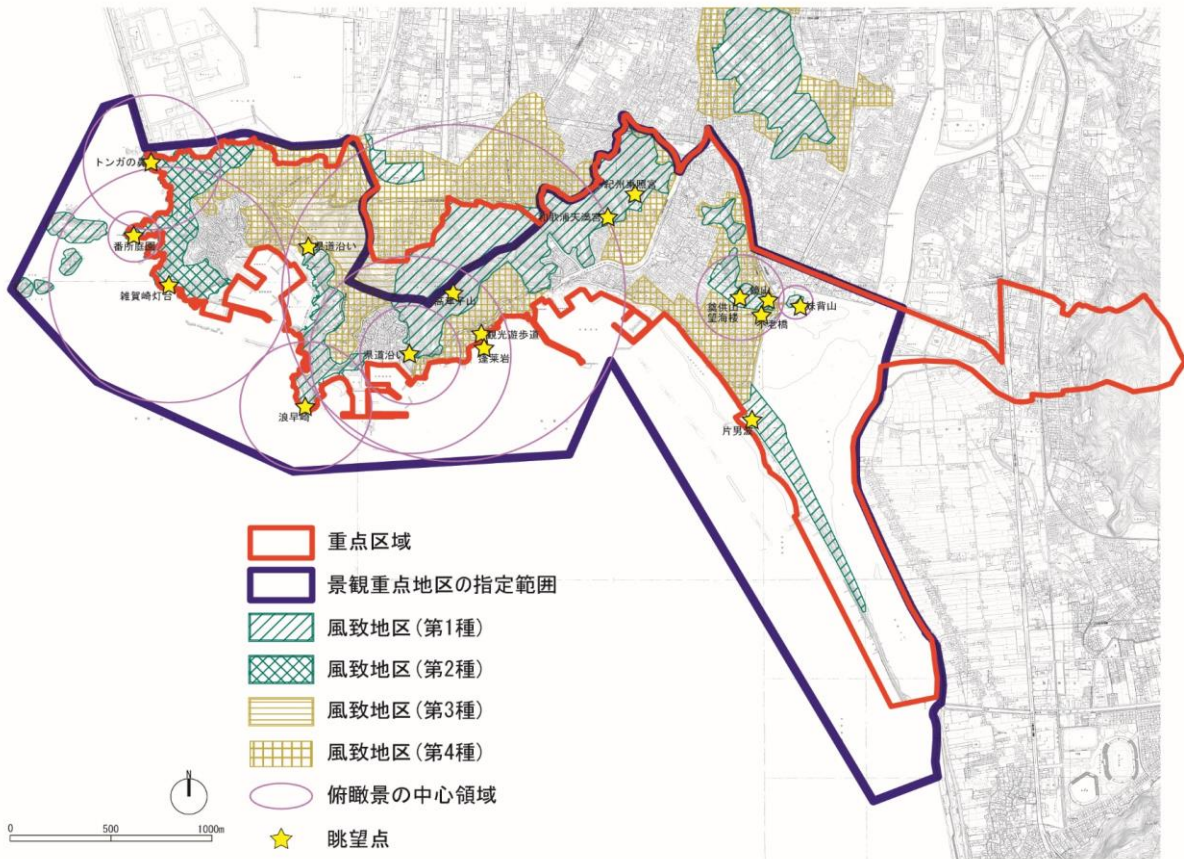
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成23年に和歌山市景観条例を制定、和歌山市景観計画を策定した。一定規模以上の建築行為や開発行為などを行う際、届出が必要であり、景観計画に定められた景観形成基準に適合する必要がある。

状況を示す写真や資料等



景観重点地区区域図

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
和歌山市屋外広告物条例		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 和歌山市屋外広告物条例により、市域全域を対象として運用を図っており、掲出区域に関する規制(許可地域、禁止地域の設定)と、掲出物件に関する規制を行っている。
 重点区域のうち、和歌浦・田野・雑賀崎においては、大半が風致地区の指定によって同条例の禁止地域に指定されており、良好な景観を形成し又は風致を維持するために、広告物の表示又は掲出物件の設置を禁止している。また、紀三井寺及びその周辺の区域についても大半が禁止地域に指定されている。
 これらの屋外広告物の誘導の取り組みを継続し、良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物を掲出する場合には、一部の適用除外広告物を除き、あらかじめ、許可を受ける必要がある。
 令和元年度 屋外広告物許可件数 : 0件
 許可制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を行い、もって良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害を防止することを目的として、平成8年12月に和歌山市屋外広告物条例を制定した。

状況を示す写真や資料等



屋外広告物条例指定区域図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業
 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)
 史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 重点区域の重要な文化財である紀州東照宮の境内において、東照宮創建400周年(2021年)に向けて、文化財建造物の美装化を行い、修景整備(経年劣化が進む石橋、石階段、参道の修繕及び機能改善や神輿舎の改修(和歌祭の神輿や衣装の展示、公開活用)、燈籠の修繕等)を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・文化庁補助事業:重要文化財(建造物)東照宮本殿、石の間、拝殿及び唐門保存修理事業
- ・歴史的風致形成建造物指定:東照宮参道(石橋、石段含む)、神輿舎
- ・歴史的風致形成建造物整備事業:⇒今年度は重要文化財本殿等の災害復旧を優先するため、次年度以降に延期(東照宮整備事業R2.4～予定:東照宮神輿舎整備、参道石橋・石垣修復)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・国指定文化財の修復事業等との調整が必要であるため、その進捗状況により所有者と協議を進めながら本事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



東照宮本殿等修復 仮設覆屋



東照宮本殿等修復 屋根葺き替え



(整備予定)東照宮神輿舎



(整備予定)東照宮参道石橋

	R1	R2	R3	R4
重要文化財(本殿等)・国指定名勝	修復	危険木撤去		
歴史的風致形成建造物(参道・神輿舎等)		設計	整備	整備

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
玉津島神社境内修景整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	重点区域の重要な文化財である玉津島神社の境内において、修景整備(玉津島神社の鳥居の復元、電線の地中化、参道整備等)を実施する。あわせて、奠供山への進入路や眺望を楽しめる広場の整備を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致形成建造物指定:玉津島神社参道(奠供山山麓部、鳥居跡地含む)
- ・歴史的風致形成建造物整備事業:1件
(玉津島神社整備事業R1.6～R3.3予定:玉津島神社参道舗装、照明設置、鳥居復元、電線埋設、展望広場整備)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・指定文化財の現状変更や周辺整備事業との調整が必要であるため、関係諸機関と協議の上、進めていく。

状況を示す写真や資料等



参道整備イメージ



参道整備イメージ



境内修景整備イメージ図



鳥居の復元イメージ



参道整備・電線地中化イメージ



参道整備・電線地中化イメージ

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・修復と活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 重要文化財修理、防災事業
 史跡等総合活用整備事業
 県文化財保護費補助事業
 市単独事業

計画に記載している内容 長年の風雨等により劣化、破損が見られる指定文化財等の適切な保存修復を図り整備を行う。特に、屋外の文化財建造物は劣化が著しいため、保存処理を行ったうえで、活用を図る。
 その際、文化財建造物の整備・修復過程など文化財の通常見られない面も公開に努めるとともに、整備後の維持管理や活用についても市民や関連団体等の協力を得られるよう働きかける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定文化財整備補助事業:2件(国名勝養翠園保存修理補助事業、国名勝和歌の浦(不老橋)修復事業)
 ・指定文化財災害復旧補助事業(継続):国指定建造物1件・史跡2件・名勝3件
 ・指定文化財管理補助事業:国指定建造物5件
 指定文化財等の保存修理について、和歌山県及び和歌山市が適切に実施、または所有者等に適切な指導を行うことにより、指定文化財等の保存・活用が促進された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

災害等で文化財が突発的に被害を受けることがあるため、迅速に復旧に対応していく。文化財の防火・防災対策の必要性がより重要視されてきており、所有者等に適切な指導を行うとともに、市管理の文化財について適切な措置を行っていく。

状況を示す写真や資料等



災害復旧事業
 名勝和歌の浦(旧芦辺屋別館)修復



災害復旧事業
 名勝和歌の浦(旧芦辺屋別館)修復



東照宮本殿等修復 仮設覆屋



東照宮本殿等修復 屋根葺き替え

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保全活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	文化財指定を受けていないものの歴史的な価値を有し、重点区域における歴史的風致を形成している建造物については、歴史的風致形成建造物に指定のうえ保全、活用を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致形成建造物指定:和歌浦蛭子神社
 ・歴史的風致形成建造物整備事業:1件完了
 (和歌浦蛭子神社整備事業R1.6～R2.1:和歌浦蛭子神社のH30台風21号で被災した本殿覆屋、拝殿、座敷の修復・整備を行った)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・当初、整備計画がないものでも、災害等で文化財が突発的に被害を受け、修復が必要となる場合があるため、迅速に復旧に対応していく。

状況を示す写真や資料等

【和歌浦蛭子神社】
本殿覆屋、拝殿、座敷の屋根
(H30台風被災状況)



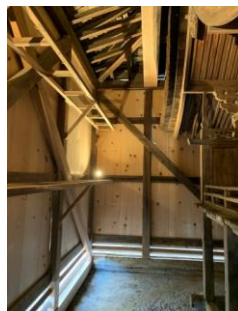
拝殿内面
(被災状況)



本殿覆屋
(被災状況)



本殿覆屋
(修復後)



【和歌浦蛭子神社】
本殿覆屋、拝殿、座敷の屋根
(修復後)



拝殿内面
(修復後)



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
市域の文化財調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 埋蔵文化財緊急調査事業

計画に記載している内容
 市域には、歴史的価値がありながら文化財指定に至っていない建造物・民俗文化財・美術工芸品等が多数存在するため、それらを調査把握し、文化財指定や登録の候補を選定するとともに、未指定文化財を含めて市域の歴史遺産全体として普及啓発を行う。
 また、通常は地下に埋蔵されて実態が目に見えない埋蔵文化財(遺跡)については、確認調査により遺跡の実態を把握し、開発等から保護するための資料を作成する。
 合わせて、和歌道・御成道、熊野古道、葛城修験の道をはじめとした歴史の道についても、その重要性を明らかにし、共有していくため、文献や古地図等の歴史資料を基に調査究明する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・開発に伴う埋蔵文化財調査:確認調査:32件、記録保存のための発掘調査:18件
 ・未指定文化財調査(郭家住宅、円珠院、紀三井寺)
 ・歴史の道調査(熊野古道:王子社跡9箇所、葛城修験の道:序本窟経塚・譬喩品経塚・友が島行所他)
 令和元年10月「葛城修験の道」が文化庁「歴史の道百選」に追加選定
 令和元年7月「和歌山市熊野古道推進協議会」発足、活用推進事業実施(提灯・看板設置)

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 開発、盗難や後継者不足等により危機にさらされる文化財の保護のため、調査による実態把握を進めるとともに、普及啓発に努めていく。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



和歌山城跡第39次発掘調査



令和元年10月文化庁「歴史の道百選」に追加選定「葛城修験の道」



令和元年7月「和歌山市熊野古道推進協議会」発足

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物等の公開・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定文化財の建造物(旧中筋家住宅)を維持管理しながら、地域住民や来訪者等に公開し、長唄・三味線、琴の演奏会や茶道体験等の公開事業を実施する。
和歌山の歴史的建造物の映像記録の上映会を開催し、普及啓発を行う。
岡公園に移築された江戸時代の武家屋敷である旧大村家長屋門を公開・活用する(平成29年度～)。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・旧中筋家住宅公開事業:観覧者数1,277人、行事開催14件
 ・湊御殿公開事業:観覧者数5,542人、行事開催1件
 歴史的建造物等を公開・活用することにより、普及啓発や観光振興、地域振興に資することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・公開活用の促進のため、地域や文化関係の団体等との連携を進めていく。
 ・観覧者数の微減傾向が続いているため、広報などにより下げ止めの対策をとっていく。

状況を示す写真や資料等



旧中筋家住宅
「和佐小学校農具体験授業」



旧中筋家住宅公開事業
高積神社の獅子舞

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
和歌山城の整備・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 史跡等総合活用整備事業
市単独事業

計画に記載している内容
 建造物の修繕や植栽の管理等、史跡の適切な維持管理、公開・活用を行う。
 段階的な整備計画に基づき、短期的な整備事業として、老朽化が進む建造物等を補修しながら、二の丸西部・西の丸を一体的に整備し、大名の生活文化を体感できる見所の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌山城二の丸・西の丸の一体的整備を目指し、「二の丸及び西の丸整備基本計画」の策定が進行中である。これに併せて二の丸大奥・西の丸能舞台を中心に発掘調査を実施した。また、今年は紀州徳川家入国400周年という節目の年に当たるため、これを記念してわかやま歴史館で企画展「徳川頼宣と和歌山城」(7月27日～9月29日)・「紀州徳川家の参勤交代」(11月2日～12月8日)を開催し、前者では5020人、後者では3596人、それぞれ入館した。年間入館者数は和歌山城天守閣209,866人、わかやま歴史館27,763人である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

豪雨により被災した天守曲輪北側斜面2ヶ所の復旧が課題となっており、1ヶ所は完了したが、残る1ヶ所の復旧を来年度に目指す。
 公開活用については、企画展の開催等を通じて和歌山城の魅力を継続的にPRしていく。

状況を示す写真や資料等



復旧工事が完了した和歌山城天守曲輪北側斜面の崩落現場



西の丸能舞台跡での発掘調査の様子

紀州徳川家入国400周年を記念して、わかやま歴史館では7月27日～9月29日の約2ヶ月にわたって企画展「徳川頼宣と和歌山城」を開催した。

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
歴史的風致維持向上支援法人への活動支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(令和2年度～令和3年度)

計画に記載している内容 歴史・文化に携わる活動団体を歴史的風致維持向上支援法人に指定し、伝統文化の継承、施設の管理運営、市民及び行政との協働による情報発信等の各種事業に対する助成を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上支援法人NPO法人和歌の浦自然・歴史・文化支援機構が、歴史文化遺産と環境を守る清掃活動36回、和歌の浦、雑賀崎の歴史発信イベント5回を開催するにあたり、支援することで、良好な景観の保全と歴史的風致の普及啓発を推進することができた。
歴史的風致維持向上支援法人NPO法人和歌浦に関連して、和歌祭400年祭実行委員会が立ち上げられ、2022年和歌祭400年祭に向けて機運醸成を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	歴史的風致維持向上支援法人が継続的に活動できるよう支援を続けていく必要がある。
--------------------------	---

状況を示す写真や資料等



講演会:和歌の浦・玉津島の歴史の様子

こんな身近に文化財!

指定文化財 **雑賀崎台場**

講演会と見学ウォーク

トンガの幕末期の遺跡「雑賀崎台場」について専門家にお話をうかがい、見学ウォークを行います。つわさきの花畑の中を、地蔵の「たからもの」に会いに行きましょう。

講演 藤藪勝則氏
和歌山県立和歌山大学文化スポーツ事務局 歴史文化センター

「海を見下ろす高台場 - 雑賀崎台場の発掘調査」

日時 11月 9日 土曜
14:00~16:30 受付開始 13:30

場所 雑賀崎地区会館

参加費 無料 申込不要

雨天の時は講演会のみ

2022年11月開催

会場 NPO法人 和歌の浦 和歌・歴史・文化支援機構 / トンガの義勇団クラブ
会場 和歌山市 和歌山県教育委員会 雑賀崎地区連合自治体
問合せ先 TEL/FAX 073-447-5844 和歌山
トンガの義勇団クラブ 33388/tongahonansha_mailbox_@メール tongahonansha@k2s.co.jp

講演会と見学ウォーク(雑賀崎台場)



2022年和歌祭400年祭に向けて実行委員会立ち上げ

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
次世代の担い手育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名
市単独事業
文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)
伝統文化親子教室事業
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)

計画に記載している内容
伝統文化・民俗芸能を普及・啓発させていくために、その担い手として重要な次世代の子どもたちを対象とした事業を重点的に展開する。
市内の小中学生等を対象に、本計画策定を契機とした歴史まちづくりに関連するパンフレット(副読本)の製作・配布を行うとともに、各学校や教育委員会と連携して講師を招いた授業等を実施する。
市内の歴史的風致維持・向上を担う活動団体(和歌祭保存会、団七踊保存会、木ノ本獅子舞保存会)等と連携し、子どもたちと民俗芸能の内容・歴史等を学ぶワークショップ等を実施する。
子どもたちが、親とともに伝統文化・民俗芸能に親しみ、修得できるよう親子教室を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の子どもむけパンフレットを市立小学校51校の5・6年生すべての児童に配布し、歴史的風致について周知・啓発を行った。また、某高校1年生が高校周辺の歴史・文化活動について探求し、知識を深めるとともに、歴史・文化の継承のために高校生ができることを考察する総合探究学習において、講演会の実施及び歴史的風致維持向上支援法人等へのヒアリングを支援を行った。小学校1校に、日本遺産・歴史まちづくり事業について普及授業を行った。子どもたちが歴史的風致に触れるきっかけとなったことで、将来担い手となることを期待する。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

定期的・継続的に歴史まちづくりに関する授業などを実施する。

状況を示す写真や資料等



総合探究学習の講演会及び歴史的風致維持向上支援法人等へのヒアリングの様子



子ども向けパンフレット(抜粋)



小学校地域総合学習(和歌浦の活性化)の様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史・文化に関する意識醸成・担い手拡大のソフト事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業
文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)

計画に記載している内容
伝統文化を普及・啓発させていくために、とりわけ一般市民を対象として活動団体等による情報発信、各種団体と連携したイベント、普及・啓発や人材育成のソフト事業を行う。
文化財等に関わる調査の蓄積や新たな調査結果について積極的に公開し、歴史研究団体等と連携して市民と専門家等が意見交換するようなイベントを実施する。
歴史的風致の維持向上に携わる市民や活動団体等と連携して、歴史的風致の情報交換・情報発信等を行うイベントを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上支援法人NPO法人和歌の浦自然・歴史・文化支援機構と連携し、歴史的風致の普及啓発イベントを実施することで意識醸成、担い手拡大に寄与している。
市域の熊野古道の保存活用を推進するため、沿道自治会関係者と本市文化財担当課、観光担当課が連携して、「和歌山市熊野古道推進協議会」を発足した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・地域住民との連携を継続的にできるように体制を維持していく。

状況を示す写真や資料等



講演会:和歌の浦・玉津島の歴史の様子



和歌山市熊野古道推進協議会の会議の様子



熊野古道活性化事業(提灯・看板設置)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史・文化に着目したまちづくり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)

計画に記載している内容
 これまで本市で取り組んできた景観まちづくりワークショップ等の取り組みも生かしながら、地域において歴史・文化等に着目したまちづくり活動を支援するため、ワークショップ等の取り組みを実施する。各地域のまちづくりワークショップ等を通じて、歴史的風致の再発見、再認識を促すとともに、それらを生かした活動についての情報提供や支援を行う。
 文化財保護活動や生業等の地域の活動団体による歴史・文化に着目した活動の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

NPO和歌浦湾海業・和歌山大学・南海和歌山支社が連携・共催している「きのくに共創セミナー」にて市担当者が出演依頼を受け、歴史まちづくりについて発表・パネルディスカッションを実施。参加した一般市民に歴史まちづくりについて普及・啓発することができた。

住民主体のまちづくりを進めている四箇郷地区では、文化財等地域の歴史を調査し、歴史文化を生かしたまちづくりにつなげるため、歴史まちあるきを実施。地域の歴史文化継承に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各地区で活動している各種団体や住民同士が連携を図るきっかけをつくるとともに、伝統文化の担い手の輩出や歴史文化を生かしたまちづくり活動を促進していく。

状況を示す写真や資料等



パネルディスカッションの様子



歴史まちあるきの様子(四箇郷地区)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
和歌祭の祭礼衣装等の新調・修繕	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)

計画に記載している内容 和歌祭本来の鮮やかさを復原するため、祭で使用する伝統的な祭礼用具や衣装等の新調・修繕を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

神輿担ぎ手衣装:27領新調
 祭礼衣装の新調・修繕を実施するにより、和歌祭開始400年(2022)に向けた機運を高めることにつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼用具・衣装の伝統的な意匠を改変することのないよう、有識者の監修のもとに新調・修繕を行っていく。

状況を示す写真や資料等



神輿担ぎ手衣装着用状況



(白張)



(白張)傷み・汚れ部分

新調前(総数)	白張200領	雑色33領	青柄40領
平成30年度新調:	白張 9領	雑色 0領	青柄10領
令和元年度新調:	白張 15領	雑色12領	青柄 0領
令和2年度新調 :	白張 20領	雑色 5領	青柄 0領

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財の継承		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業
文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 県指定、無形民俗文化財である木ノ本の獅子舞・団七踊について、保存会組織による無形民俗文化財の保持・継承事業に支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

木ノ本の獅子舞:10月19.20日、木本八幡宮例祭で木ノ本の獅子舞保存会により披露
 団七踊:8月14日、岡崎西熊野神社で岡崎団七踊り保存会により披露
 無形民俗文化財の保存団体に対し、継続的に支援を行うことにより、地域に根ざした無形民俗文化財の安定的な保持継承に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	参加者の減少傾向に対応するため、小学校等への普及啓発に努めていく。

状況を示す写真や資料等



木ノ本の獅子舞



団七踊

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
無電柱化の推進(和歌浦59号線、和歌浦口雑賀崎線)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 和歌祭の巡行経路である和歌浦口雑賀崎線における無電柱化、重点区域の重要な文化財である紀州東照宮、和歌浦天満神社へとつながるルートである和歌浦59号線において無電柱化と美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌浦口雑賀崎線について、測量及び詳細設計を実施中である。若干の遅れはあるが、概ね予定通り進捗している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。
--	-----------------------------

状況を示す写真や資料等



現況写真



整備イメージ



【スケジュール】

市道和歌浦口雑賀崎線



市道和歌浦59号線



評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
道路美化化・修景の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	重点区域の重要な文化財である紀州東照宮、御手洗池公園、和歌浦天満神社を結ぶルートである市道と歌浦59号線や、歴史的建造物である民家が点在し、地域住民の生活空間となっている市道明光通線等において、歴史的な街並みに調和した道路の美化化、修景(歩道橋の塗り替え)を進める。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌浦歩道橋について、補修設計を実施した。予定通り進捗している。
市道明光通線について、詳細設計を実施した。予定通り進捗している。

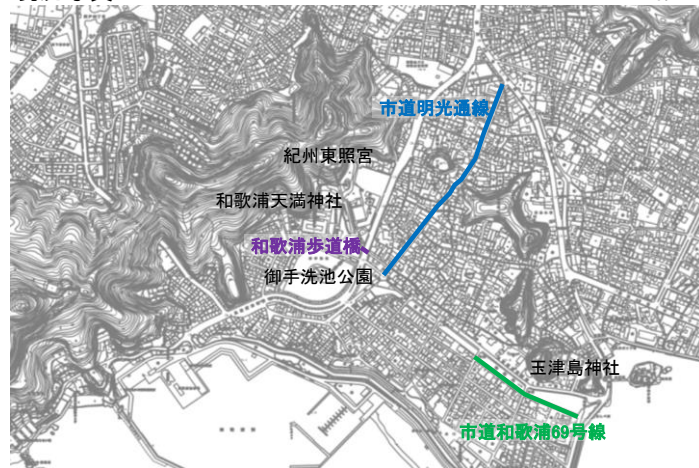
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。

状況を示す写真や資料等



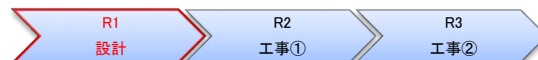
現況写真

整備イメージ

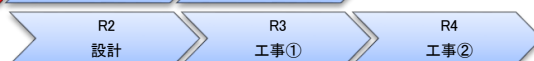


【スケジュール】

市道明光通線



市道と歌浦69号線



和歌浦歩道橋



評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
公園整備(御手洗池公園、沖見の里公園)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 紀州東照宮参詣者の襍ぎの場であり、和歌浦天満神社と紀州東照宮とを結ぶ回遊動線上重要な位置にある御手洗池公園の歴史・景観等に配慮した整備(護岸修繕による修景整備、遊歩道の整備、水質浄化施設設置)を行う。
漁業関係者が沖の様子を眺める場所であり、季節と潮の変わり目や天候の変化に敏感である漁業集落ならではの風習である「ハナフリ」という行事で、彼岸の中日に太陽が沈む際、夕陽の光が花びらのように散り輝くのを拝む沖見の里において、公園の整備(敷地造成、園路広場整備、サービス施設の整備等)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

御手洗池公園については、測量及び詳細設計を実施中である。
沖見の里公園については、測量及び詳細設計を実施中である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	御手洗池公園は、名勝和歌の浦(国指定文化財)の指定地内に存するため、各関係機関等と現状変更等について協議のうえ、推進する必要がある。

状況を示す写真や資料等



御手洗池公園 現状写真



沖見の里公園用地 現状写真



【スケジュール】

御手洗池公園



沖見の里公園



評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
遊歩道整備(和歌浦、高津子山、浪早崎)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 ○和歌浦観光遊歩道(約900m):遊歩道に設置している防護柵を景観に配慮したものに変更する。加えて、遊歩道内に照明を設置し、夜間の視認性を上げるとともに、情緒のある雰囲気 연출し夜間の散策スポットとなるよう整備する。
 ○高津子山遊歩道(約1,640m):高津子山の良好な眺望景観が望める場所として来訪者の散策を促すため、地権者等との調整のもと、散策路の整備を行う。
 ○浪早崎遊歩道(約500m):道標や夜間の視認性を確保する街灯、風景を眺めながら休憩できるベンチを設置するなど、良好な眺望景観が望める場所として来訪者の散策を促すため、散策路の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

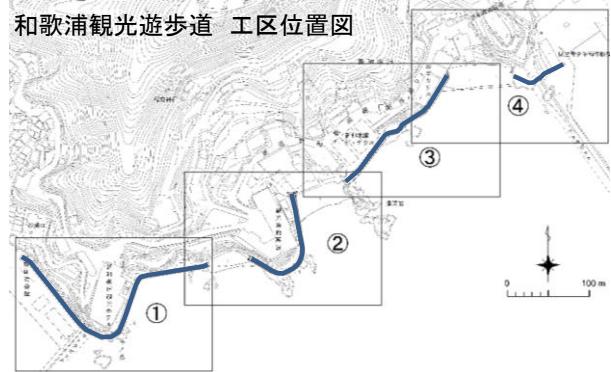
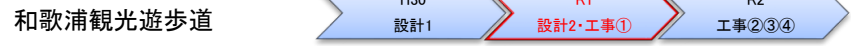
和歌浦観光遊歩道について、工事を実施し、①の区間326mが完了した。(全体施工延長740m)
 また、測量及び詳細設計その2を実施中である。若干の遅れはあるが、概ね予定通り進捗している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。

状況を示す写真や資料等



【スケジュール】



高津子山遊歩道



浪早崎遊歩道



評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
駐車場整備		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 重点区域における沖見の里公園等へのアクセス環境を向上させるため、雑賀崎漁港内において駐車場を整備する。
 雑賀崎漁港では、究極の産地直産として「漁船からの直接販売」を実施しており、新鮮な魚介類を買い求める来訪者が多いことから、それらを受け入れる駐車場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

雑賀崎漁港駐車場について、昨年度から継続して実施していた工事が完了し、現在は供用開始している。供用開始後、約600台/月の利用があり、市内外から漁業集落への来訪におけるアクセス環境向上に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



雑賀崎漁港駐車場 施工完了

【スケジュール】

雑賀崎漁港駐車場



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
広場整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 漁業関係者が沖の様子を眺める場所であり、季節と潮の変わり目や天候の変化に敏感である漁業集落ならではの風習である「ハナフリ」という行事で、彼岸の中日に太陽が沈む際、夕陽の光が花びらのように散り輝くのを拝む雑賀崎灯台周辺、雑賀崎台場跡周辺において広場を整備する。
 ○雑賀崎灯台周辺眺望広場(面積:660㎡)
 雑賀崎灯台の隣接地において、沖の様子や漁船の様子、夕陽を眺める良好な眺望スポットとなる広場、市民や来訪者の憩いの空間となる広場を整備する。
 ○雑賀崎台場跡周辺広場(面積:190㎡)
 雑賀崎台場跡への県道からの入口部分に広場を設け、案内看板・ベンチ等を設置し、沖の様子や漁船の様子、夕陽を眺める良好な眺望スポットとなる遺跡公園と一体的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

雑賀崎灯台周辺眺望広場について、昨年度から継続して実施していた工事が完了し、現在は供用開始している。供用開始後、多世代の方が訪れるスポットとなり、漁業集落への来訪者増加に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域内の観光施設の一つとして、今後も継続的にPR活動を行い、更なる雑賀崎地域の活性化や国内外からの観光客誘客につなげていく。

状況を示す写真や資料等



雑賀崎灯台周辺眺望広場 施工完了



夕陽を眺めることができる眺望スポット



雑賀崎灯台周辺眺望広場 オープニングセレモニー

【スケジュール】

雑賀崎灯台周辺眺望広場 H30
工事

雑賀崎台場跡周辺広場 R2
測量登記 R3
設計・工事

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
「和歌の浦」ガイダンス施設整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 重点区域における歴史的風致、日本遺産の価値やその成り立ち等を情報発信する施設や、様々な市民団体の交流・情報発信の場となるガイダンス施設と、来訪の起点となる駐車場を整備する。
 <ガイダンス施設の導入機能(予定)>
 ・周辺の施設案内・和歌の浦内の資源、歴史的風致、日本遺産に関する情報展示(パネル、衣装、模型等)・住民や市民活動相互の交流・滞在・休憩

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

先行外構工事が完了し、観光バスやイベント時の一般駐車場として活用しており、地域活性化に寄与している。耐震診断及び基本設計を実施中である。若干の遅れはあるが、概ね予定通り進捗している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存建造物を活用し整備するため、既存建造物の価値に鑑みて事業を推進する必要がある。

状況を示す写真や資料等



先行外構工事完了



整備イメージ

【スケジュール】

和歌の浦ガイダンス施設



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
博物館歴史展示・講座の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 市立博物館において、和歌山城下町や和歌の浦、加太等和歌山市域の歴史に関する常設展示を行い、和歌山の魅力を伝えるとともに、夏と秋に開催する特別展において、和歌山に関する特定のテーマについて掘り下げた展示を行い、和歌山の歴史の奥深さを紹介する。
 あわせて、和歌山市域の歴史に関する歴史講座を開催し、和歌山の魅力を伝えるとともに、「史跡散歩」と題したまち歩きイベントを定期的で開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌山の歴史的魅力を伝えるため、常設展示室内のコーナー展示において、「徳川頼宣の傳役・三浦為春と家老三浦家」「描かれた紀州の海岸」「写真にみる戦後の和歌海苔」「江戸時代の加太」など、和歌山城下町や和歌の浦、加太などに関する資料を展示した。また春には、企画展「写真にみる和歌山市の歩み」(4～6月)、夏と秋には、それぞれ「雑賀衆と鷺ノ森遺跡」(8～9月)「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」(10～11月)をテーマとした特別展を開催し、和歌山の歴史・文化の魅力を紹介した。さらに、和歌山市域の歴史に関する講座や講演会、まち歩きイベント「史跡散歩 熊野古道を歩く」(11月)などを開催し、和歌山市の歴史的風致について、その意義や魅力を知っていただく機会となった。なお、年間入館者数は17,397人である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

和歌山の歴史・文化を広く普及啓発するために、一般向けから児童向け、専門的とその対象に効果的な事業を行っていく。

状況を示す写真や資料等

- ・特別展:
 「雑賀衆と鷺ノ森遺跡」
 「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」
- ・企画展:
 「写真にみる和歌山市の歩み」
 「没後20年 中畑岬人」
- ・古文書講座「紀州の戦国時代」
- ・学芸員講座「歴史の玉手箱」
- ・体験学習「むかしの遊び」
- ・博物館おでかけ歴史講座



菓子木型で粘土の型抜き体験
 “令和菓子”



令和元年8月24日～9月29日
 夏季特別展
 「雑賀衆と鷺ノ森遺跡ー紀州の戦国ー」



令和元年10月19日～11月24日
 徳川家入国400年記念 特別展
 「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」
 ※県立博物館と共催

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
和歌の浦の文化財説明板・まち歩き案内板設置	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和3年度
支援事業名	日本遺産魅力発信推進事業 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	重点区域内の日本遺産の文化財や観光地に、来訪者を誘導する為の案内板や文化財の魅力解説する説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日本遺産ビューポイント看板7基設置、ロゴシール8か所貼付
日本遺産の現地の案内整備を進めることにより、来訪者や地域住民への文化財の魅力をわかりやすく発信することにつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・現地での案内をわかりやすくするために、周遊ルートに沿って効果的に案内板を配置していく。

状況を示す写真や資料等

案内板・説明板・ロゴマーク設置箇所図

今回整備する看板および案内板(7か所)		「日本遺産ロゴマーク」のシールを添付(8か所)	
① 龍岡崎灯台	⑤ 玉津島駐車場	① 龍岡崎灯台	⑤ 蓮手洗池公園
② 高津子山登山口	⑥ 奥山登山口	② グランリゾート前	⑥ 不老橋
③ 高津子山展望台	⑦ 奥山	③ 萬次前	⑦ 紀三井寺
④ 玉津島港内		④ 萬次前	⑧ 紀三井寺

ビューポイント看板7ヶ所設置、ロゴシール8ヶ所貼付



ビューポイント看板



貼付シール

※写真・地図は事業完了後に差し替え予定

【(和歌浦地区)文化財・観光看板 年次計画】
 平成29年度:文化財説明板9基、観光案内板11基
 平成30年度:観光案内板1基
 令和元年度:ビューポイント看板・案内板5基
 令和2年度:設置場所・内容未定(10基程度)
 令和3年度:設置場所・内容未定(10基程度)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
日本遺産の魅力発信		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 日本遺産魅力発信推進事業

計画に記載している内容
 和歌の浦の持つ歴史的な価値に加え、歴史的建造物や自然景観を楽しめる魅力を発信すべく、様々な情報発信ツールを活用したPRを積極的に展開する。
 ・和歌の浦の観光情報を網羅したホームページの作成と、PR動画の配信
 ・誰もが理解できる分かりやすいガイドブック(日本語版・英語版)の制作と、国内外からの誘客促進のため文化・芸術に関心の高い人々が集まる拠点施設等へのガイドブックの配置

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

体験ガイドブック作成、プレスツアー参加5社、雑誌掲載などのPRを実施した。
 日本遺産の情報発信を促進することにより、来訪者や地域住民へ文化財の魅力をわかりやすく発信することにつながっている。

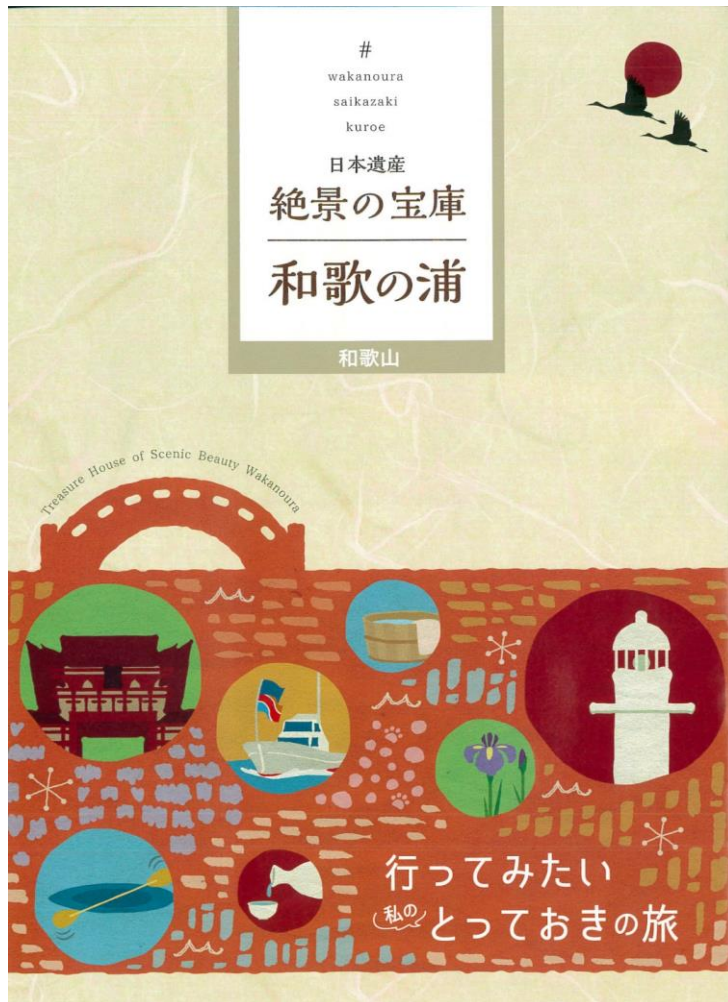
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

和歌の浦の歴史・文化を効果的に情報発信するために、海外、国内、地元とそれぞれの対象に有効な発信媒体で対応していく。

状況を示す写真や資料等



日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」体験ガイドブック

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史・文化のプロモーション事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業
文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)
日本遺産魅力発信推進事業(平成29年度～令和元年度)

計画に記載している内容
市民のみならず、市外や外国人来訪者等をもターゲットに据えて、歴史的風致を含めた地域の魅力を発信し、訪問や回遊、滞在行動へとつなげる事業を展開する。
特に、和歌の浦においては、日本遺産認定を契機に、和歌の浦の魅力を伝える人材を発掘・育成する事業を展開するとともに、普及啓発のためのイベント等を集中的に開催する。
・日本遺産ガイドを養成するための講習会の開催
・地域のキーマンとなる人材の掘り起こし、専門家による研修会の開催
・シンポジウム及び構成文化財をめぐるウォークイベントの開催
・日本遺産のストーリー・構成文化財の展示ブースの設置

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日本遺産シンポジウム:300人
日本遺産を中心とした歴史・文化のプロモーションの実施により、地域の魅力発信が促進された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
和歌の浦の歴史・文化を効果的にプロモーションするために、海外、国内、地元とそれぞれの対象に有効な事業を行っていく。

状況を示す写真や資料等

日本遺産シンポジウム
～万葉の時代から紡がれる和歌の浦の物語～

令和元年 12月8日(日)
13:30～16:00(開場12:30)
会場/ダイワロイネットホテル和歌山4Fプレジール (和歌山市七番丁25-1)

先着300名(催期中止)
入場無料
申込締切 11月27日(水)

基調講演 テーマ「万葉の物語を旅する」 講演者 里中清智子(マコトチコ)

地域芸能 和歌祭 御船歌 演奏 唐松節船歌連中

パネリスト(パネルディスカッション) テーマ「いま伝えたい和歌の浦の魅力」

コーディネーター 里中清智子

パネリスト
はな つかさ(和歌山大学)
村瀬 重夫(和歌山大学)
坂口 崇徳(和歌山大学)
若村 雄輝(和歌山大学)

申込先
株式会社和歌山放送内「日本遺産シンポジウム事務局」 TEL:073-428-1431
FAX:073-428-0960 Eメール:nihonisan@wbs.co.jp
和歌山県庁内「和歌山県文化振興課」TEL:073-441-2424

日本遺産シンポジウム
～万葉の時代から紡がれる和歌の浦の物語～

令和元年 12月8日(日)
13:30～16:00(開場12:30)
会場/ダイワロイネットホテル和歌山4Fプレジール (和歌山市七番丁25-1)

出演者プロフィール

里中清智子(マコトチコ)
和歌山大学名誉教授、和歌山大学学長。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。

村瀬 重夫
和歌山大学名誉教授、和歌山大学学長。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。

坂口 崇徳
和歌山大学名誉教授、和歌山大学学長。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。

若村 雄輝
和歌山大学名誉教授、和歌山大学学長。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。和歌山大学学長として、和歌山大学の発展に貢献。

唐松節船歌連中
和歌山県和歌山市の伝統芸能。和歌山県和歌山市の伝統芸能。和歌山県和歌山市の伝統芸能。和歌山県和歌山市の伝統芸能。和歌山県和歌山市の伝統芸能。

申込先
株式会社和歌山放送内「日本遺産シンポジウム事務局」 TEL:073-428-1431
FAX:073-428-0960 Eメール:nihonisan@wbs.co.jp
和歌山県庁内「和歌山県文化振興課」TEL:073-441-2424



日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」

評価軸③-25 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
遺跡の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和9年度

支援事業名 地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業

計画に記載している内容

市内各所の発掘調査が行われた遺跡について、説明板設置とパンフレット作成を行い、普及啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・発掘調査速報展パンフレット1000部作成、配布
- ・市民ギャラリー展示(発掘調査速報展)2回

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

広く普及啓発を進めるため、博物館・市役所等での遺物展示、現地での案内板・説明板やパンフレットでの周遊ルートの説明などを分かりやすくしていく。

状況を示す写真や資料等

発掘調査情報パンフレット

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
文化財の保存に関する取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の指定・登録への取り組みが進むよう、大学他の研究機関や民間団体とも連携し、調査成果の共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定については、国史跡指定1件があり、市指定文化財5件を指定した。指定文化財修復補助事業としては2件があり、災害復旧補助事業として、国指定建造物1件・史跡2件・名勝2件がある。他に指定文化財管理補助事業として、国指定建造物2件がある。
 文化財防火デー、文化財保護協調週間の啓発に努め、災害時にはその都度文化財被害状況調査を行っている。
 指定文化財の選定、指定文化財等保存修理、盗難被害防止を含めた未指定文化財の調査を進めることにより、市域全体の文化財の把握、維持管理、保存活用に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財の調査を進めるとともに、指定文化財については所有者と連携し、文化財の適切な保護に努める。特に、文化財の適切な維持管理とともに防災・防犯の対策が進むよう指導・協力を努める。

状況を示す写真や資料等



重要文化財東照宮本殿他修復事業
(屋根葺替え)



災害復旧事業
名勝和歌の浦(旧芦辺屋別館)修復



水軒堤防 令和元年国史跡指定



水軒堤防(移築保存部分)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の活用に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の保存・活用を図るうえで、展示を行うための施設や、文化財を総合的に情報発信する拠点となる施設として、和歌山市立博物館、わかやま歴史館等があり、県施設(和歌山県立博物館等)とも連携し、市民への文化財への理解と保存又は活用に向けた気運の醸成を図る。
 文化財の情報を一覧できる文化財ポータルサイトの運用、各種講座・講演会・シンポジウム等の開催等による普及・啓発を図る。また将来の担い手である子どもたちに対し、学校教育・社会教育とも連携した歴史学習の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

展示施設の活用では5施設の観覧者数合計261,845人(市立博物館:17,397人、わかやま歴史館:27,763人、和歌山城天守閣:209,866人、旧中筋家住宅:1,277人、湊御殿:5,542人)である。歴史学習の展開では、小学校への出張授業:3回、博物館小学校見学受入:49回があった。
 展示施設を拠点として文化財の普及啓発を進めることにより、地域の歴史に根ざした魅力を発信することにつながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の活用において、様々な階層への働きかけとそれに応じた普及啓発の方法を適宜検討していく。 【目標値】 展示施設の活用:5施設の観覧者数合計288千人(H34) 歴史学習の展開:合計65回(H34)

状況を示す写真や資料等



令和元年10月19日-11月24日
 徳川家入国400年記念 特別展
 「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」
 ※県立博物館と共催



「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」展示状況



「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」講演会

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み

計画に記載している内容

埋蔵文化財包蔵地の状況を和歌山市埋蔵文化財包蔵地所在地図で公表し、遺跡保存についての協議や土木工事の際の手続きを明示し、遺跡の確認調査を実施している。また埋蔵文化財センターにより記録保存のための発掘調査を実施している。今後とも、上記に継続して取り組み、埋蔵文化財包蔵地における届出等の徹底を図るとともに、文化財担当課の指導のもとでの保護を徹底する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

埋蔵文化財の取扱いについては、文化財保護法93・94条に基づく埋蔵文化財発掘の届出・通知:365件、開発に伴う遺跡の確認調査:32件、記録保存のための発掘調査:18件がある。埋蔵文化財の普及啓発としては、発掘調査速報展示(市民ギャラリー):2回実施、発掘調査情報パンフレット1,000部作成を作成した。通常は地下に埋もれて実像がわかりにくい埋蔵文化財について、発掘調査成果の普及啓発等により、地域の歴史に根ざした魅力を発信することにつながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

埋蔵文化財(遺跡)は地下にあり実像がわかりにくいいため、現地での案内や遺物の展示等でその時代の生活の様子等がわかるよう普及啓発を進めていく。

状況を示す写真や資料等

和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報 2019

和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報 2019

和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報 2019

和歌山城跡第39次発掘調査 現地公開資料

和歌山城跡第39次発掘調査 現地公開資料

和歌山城跡第39次発掘調査 現地公開資料

和歌山城跡第39次発掘調査 現地説明会資料

発掘調査情報パンフレット

発掘調査情報パンフレット

発掘調査情報パンフレット

発掘調査情報パンフレット

府中遺跡第6次発掘調査 現地説明会資料

府中遺跡第6次発掘調査 現地説明会資料

府中遺跡第6次発掘調査 現地説明会資料

府中遺跡第6次発掘調査 現地説明会資料

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和元年度
春夏絶景<9つのプレミア>(雑賀崎)	平成31年4月27日	ぴあMOOK「日本の絶景春夏編」
映画ロケ地(明光商店街)	令和元年7月23日	映画
日本遺産のまち和歌の浦でしたい7つのこと	令和元年8月28日	るるぶ お出かけガイド
近場で発見!“穴場”な和歌山(雑賀崎)	令和元年9月1日	じゃらん10月号
雑賀崎灯台に展望広場!新たな観光スポットに	令和元年9月6日	産経新聞
“映える”夕日スポット 雑賀崎に展望広場	令和元年9月20日	わかやま新報
日本遺産和歌の浦エリア(雑賀崎)	令和元年10月1日	じゃらん11月号別冊付録
京阪神発日帰り大人の小さな旅 絶景めぐり	令和元年10月11日	まっふるマガジン
ウラマチぶらり「船から絶景 上人窟に光」	令和元年10月20日	朝日新聞
4人と1団体に 和歌山市文化表彰決まる	令和元年11月9日	わかやま新報
「絶景の宝庫・和歌の浦」シンポ 里中さん講演	令和元年12月8日	和歌山放送
日本遺産「和歌の浦」を訪ねて	令和元年12月27日	山陽新聞
「名勝和歌の浦」の歴史を学んで、知って、楽しむまちづくり	令和2年1月17日	わかやま新報
和歌の聖地でのんびりと 和歌山市のみやびな日帰り旅	令和2年1月25日	ウォーカープラス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌山市歴史的風致維持向上計画の認定や計画に基づき実施する事業に関するについて多数報道されている。これらの報道を通して、和歌山市の歴史まちづくりに関する取組、歴史的風致について関心、認識が高まり、普及啓発となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

歴史的風致の情報発信と認識向上

歴史的風致について、市民等に積極的に公開する機会を通じて普及啓発を図る。また、地域の歴史や文化、伝統、価値に関する理解や周知が十分でないこと等から、パンフレットや冊子、ホームページや動画コンテンツ等を作成し、認識の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年11月24日より歴史まちづくりカードの配布を開始。平成30年度から10,724枚を配布し、市民及び来訪者に広く歴史的風致をPRすることができた。
市施設見学会(令和元年11月22日、市域東部と三社詣のルート)で和歌山大学生17人の参加があり、感想や観光の改善への提案などが得られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくりカード(表面)



歴史まちづくりカード(裏面)

問3 今日見学したコースの中で、観光の視点から見た場合の「課題」と「課題に対する改善方法」について、お考えください。

課題	改善方法
・寺社が観光地として取り上げられることがあまりなく、アクセスが分かりにくい。「ご利益」が分からないと行こうと思わない。	・他の観光地と合わせて、電車やバスでのアクセスや、ご利益などを観光客向けのHPや冊子などへ記載する。観光地の入口や出口付近に、周辺の観光地への行き方の案内板を設置する。
・観光する時間が少し少ない(神社をもう少し見なかった)。	・集合解散の時間を30分~1時間くらいにばす。
・見学する側の神社内でのマナーが気になりました(騒がしいなど)。見学時間がいつまでか少し分かりにくかったかもしれない。	・最初に注意事項を伝えておくなどした方が良かったのではないかと思います。
・対象が大学生の割には行く場所やコンテンツが地味だったような気がする。	・神社もいいが、なんだろう、もう少し直接感覚に訴えてくるもの(例えば絶景しにするとか)にしたいような気がする。
・三社詣りという一つの観光コースは和歌山市民にとっては有名であるが、県外の認知度が低い。せっかくの観光資源を活かされていない。また、外国人観光客向け整備(英語での作法説明など)が必要。	・初詣ではたくさんの方が来ると聞いたので、市や県が貴志川線とタイアップして三社詣りの観光プランを作成して、おススメしていくべき。外国人への対応は、写真撮影禁止の看板や音声案内のガイドを作っていく方がよいと思う。
・神社ごとにあまり違いを感じられなかった。神社へ参拝した際に、それぞれの神社での違いをもう少し明確に出来ればよいと思った。	・おみくじや参拝の仕方などで違いをつける。
・三社詣りの認知度が低い。	・そういったお詣りのコースがあることを、更にPRしたら良いと思います。
・コンビニの数よりも多いはずの神社が、いわゆる興味を持たない一般人の目にとまりにくい点。	・神社のアピールのためにも、神社の歴史、現在の立ち位置を踏まえたうえで、これからの時代、どのような形で我々の生活、未来に関わっていくのかという点を明確にして活動していくこと。
・神社以外の施設が近くにあまり見つからなかった。	・今回の昼食のように、古民家リノベーションなどで神社近くに楽しめる施設を作る。
・歴史についての資料等もあつたら良かった。	・パンフレットに記載する。
・神社があまり遊ぶところがない。	・神社スタンプラリー
・四季の郷公園の認知度を高めるべき。	・四季の郷公園は非常に大きな公園なのに私も知らなかったし、認知度が低いと考える。改善方法としてはもっと様々なイベントを開催して、大々的にPR、宣伝することで利用客が増えるのではないかと。
・バスの中ですることがなかった。	・和歌山に関するクイズなどをする。魅力を伝える。
・日前宮でカメラを置く台が中途半端だったので、分かりませんでした。	・カメラの台の位置を鳥居の前とかにしたらいいと思いました。
・場所移動する時にどのくらいで着くとか、自由時間は何分までと言うアナウンスが少なかった。	・面倒ではあるが、逐一言った方がスムーズに行動できる。
・バスの中でコースのアナウンスや和歌山市のことを聞くことが出来なかった。	・ツアーを開催してくれる方が、マイクなどを使って説明しながら進行する。
・バスの集合時間などがあいまいで少し分かりにくかったり、聞いていない学生がいた。9時~16時ではなく、10時~17時の方が良いと思った。	・バスの中でみんなが集まっているときに、集合時間を伝える。和歌山市外からの人が多かったため、10時~17時にする。

市施設見学会(三社詣り)
アンケート

評価対象年度		令和元年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称：和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会		
会議等の開催日時：令和2年2月14日(金)9時30分から11時30分まで		
(コメントの概要)		
<p><事業全体について></p> <p>○評価軸、事業名、担当課名、年次計画などを1枚にまとめた資料を作成し、進捗管理など事業評価を行いやすくすることが望ましい。</p> <p><個別事業について></p> <p>○和歌の浦ガイダンス施設について、地域の特徴でもある伽羅岩や、全面道路からの見え方などを配慮した外構整備を検討する必要がある。また、現存する建物の価値や、利用者、周辺施設との動線に配慮する必要がある。</p> <p>○眺望点における説明版・案内板の設置に関して、眺望の妨げとなっている樹木の伐採については関係機関と適切に調整を行い、眺望を確保する必要がある。ただし、樹木伐採場所や伐採量に関しては、周辺からの眺望場所の見え方には配慮しなければいけない。</p>		
(今後の対応方針)		
<p><事業全体について></p> <p>○評価軸、事業名、担当課名、年次計画などをまとめた資料を作成し、事業評価を行いやすくするよう努めることとする。</p> <p><個別事業について></p> <p>○和歌の浦ガイダンス施設について、敷地内に見える伽羅岩や池などの既存資源や、周辺からの見え方に配慮した外構整備を検討していく。また、昭和初期に建築された建物の価値を生かし、利用者や周辺施設との動線に配慮して、ガイダンス施設の目的を果たせるような整備を検討していくこととする。</p> <p>○眺望点における説明版・案内板の設置に伴い、眺望を確保するために必要な樹木の伐採については適切に関係機関と調整しながら進めていくこととする。</p>		